

シリコーン対応液体洗浄剤

マイノール SS-600

 はじめに

ジメチルシリコーン（ジメチコン）類の洗浄は、通常のアルカリ洗浄剤で完全に洗浄することは困難で特に高粘度ジメチルシリコーンにおいては、洗浄後シリコーンの再付着により洗浄不良を引き起こす原因にもなる事があります。このため塩素系溶剤や低引火点の石油系溶剤で洗浄を行なうこともあります。環境問題等から使用を避けたいのが現状です。

本製品は、上記の様な溶剤を含有していない特殊水系アルカリ洗浄剤でジメチルシリコーンに対して強い乳化・分散力を持っています。

洗浄後は水洗を行なう事によりジメチルシリコーンを完全に除去する事が可能です。

また、加温して使用することにより高粘度のジメチルシリコーンについてもより高効率の洗浄性が期待できます。

 ご使用方法

---

濃 度	5%～原液
温 度	常温～80℃

---

- ・ 洗浄濃度は、汚れ（シリコーン量）や粘度に合わせ調整して下さい。  
粘度が 100.000 mm<sup>2</sup>/s を超えるような高粘度シリコーンには原液使用や加温（～80℃）が効果的です。
- ・ 製造釜などの洗浄には、5～10%程度に希釈して攪拌・加温などを行った後水洗をして下さい。
- ・ 床や装置などに付着したシリコーンは、原液を塗りつけブラシなどで擦った後水洗をして下さい。

 性 状

---

外 観	: 淡黄色透明液体
pH（1%水溶液）	: 11.0
粘 度（25℃）	: 27.0mPa·s
比 重（15/4℃）	: 1.04

---

 **成 分**

---

アルカリ成分
界面活性剤
可溶化剤
キレート剤
水

---

 **荷 姿**

18Kg 入缶


 **ご使用上の注意点**

取り扱い注意事項

本製品はアルカリ性で、眼に入れば損傷させる可能性があります。必ず保護眼鏡をご着用下さい。  
本製品、および希釈した水溶液を長時間素手で取扱いますと肌荒れをおこす場合があります。お取扱いの際は保護手袋を着用して下さい。

応急処置

眼に入った場合は直ちに多量の流水で洗眼し、医師の手当を受けて下さい。  
飲み込んだ場合はコップ1~2杯の水または牛乳を飲み、医師の手当てを受けて下さい。  
皮膚についた場合は水また微温水でよく洗ってください。

 **適用法令** (詳細は SDS を参照して下さい)

労働安全衛生法	非該当
毒劇物取締法	非該当
消防法 (危険物)	非危険物
P R T R 法	非該当

**製造販売元**

**理系化学工業株式会社**

本社/工場 〒679-0302

兵庫県西脇市黒田庄町黒田 1603-5

TEL 0795-28-5150 FAX 0795-28-5148

URL <http://www.rikeichemical.com>

E-mail [info@rikeichemical.com](mailto:info@rikeichemical.com)

---

ここに記載した事項は情報提供を目的としたもので、記載内容を保証するものではありません。また、特別な取扱いをする場合は、ご使用者各位の責任においてお取扱い下さい。

---

## マイノール SS-600 技術資料

### 目的

ジメチルシリコーン（ジメチコン）、メチルフェニルシリコーンの洗浄試験。

### 洗浄条件

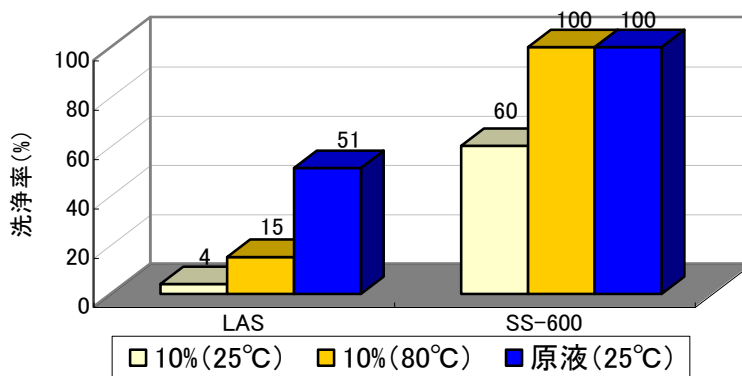
洗浄対象物                    ステンレス板（60×45mm）の下部 35×35mm部分にジメチルシリコーン及びメチルフェニルシリコーンを 1.0g 塗布し精秤したもの。

洗浄方法                      500ml ビーカーに洗浄液を 500g 量りマグネティックスターラーにて一定攪拌状態とし、上記のステンレス板を浸漬する。  
洗浄時間経過後、上水で濯ぎを行なう。

洗浄力評価方法              洗浄・濯ぎ後のステンレス板を乾燥させ重量減量から洗浄率を算出する。

### 洗浄結果

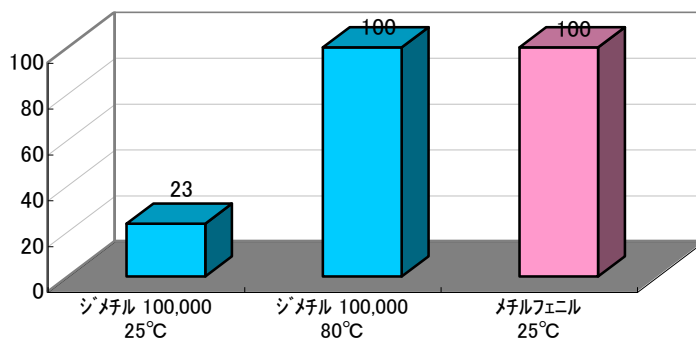
#### ①ジメチルシリコーン（30,000 mm<sup>2</sup>/s）に対する洗浄率



洗浄剤濃度	原液または 10%
洗浄温度	25°C 80°C
洗浄時間	20分

LAS 直鎖トデシルベンゼンスルホン酸ソーダ（15%含有）

#### ②ジメチルシリコーン（100,000 mm<sup>2</sup>/s）、メチルフェニルシリコーン（10 mm<sup>2</sup>/s）に対する洗浄率



洗浄剤濃度	30%
洗浄温度	25°C 80°C
洗浄時間	20分
洗浄剤	SS-600

本製品はジメチルシリコーンやメチルフェニルシリコーンに対して洗浄性が優れています。また、常温（25°C）付近で洗浄不足となる洗浄剤の低濃度使用や高粘度シリコーンを洗浄する場合は洗浄温度を 80°C まで上げる事によって十分な洗浄効果が得られました。

以上